

報道関係各位

岩手県立大学社会福祉学部（櫻研究室）
北上市立中央図書館

岩手県立大学地域政策研究センター 地域協働研究ステージⅠ・Ⅱ実績報告
『絵本と子どもとその未来
子どもと本～図書館と育む地域子育てコミュニティ～』
刊行のお知らせ

◆「利用者の生活になかにおける図書館」－ The library in the life of the user

読書は子どもの成長にとって、とても大切な体験です。しかしながら、近年は様々な理由から公立図書館の来館者が減っている現実があります。また、各地の子どもの生活実態調査の結果をみると、生活課題により家庭における読書環境に差異が生じていることが危惧されるところです。

そうした中であって、「利用者の生活のなかにおける図書館」としての公立図書館は、地域の子どもの「読む権利」を支えるために何ができるのか？

読書環境が整っていない家庭や、図書館にアクセスが難しい親子にこそ、公立図書館に対する潜在的ニーズがあるのではないかと。だとしたら、実態に応じた新しい試みが出来ないだろうか？

この冊子では、北上市立中央図書館と岩手県立大学社会福祉学部（櫻研究室）の3年に渡る協働研究の成果を基に、就学前の親子と本をつなぐために公立図書館が行った等身大の「頑張りすぎない」「誰でもマネできる」「館外ユニット活動」の取組をご紹介します。

この冊子で紹介している試みは決して大きなものではありませんが、だからこそ、子どもに本を届ける取組として、地域の公立図書館の職員の方や読書ボランティアさん、教育委員会などの関係各位、そして地域の親子のみなさんに参考になるのではないかと考えております。

つきましては、刊行した冊子のコピーを添付しますので、お忙しい中、誠に恐縮ではありますが、ぜひご一読いただき「こどもの読書習慣」のこの時期に、貴誌の読者の皆様にご紹介頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

※なお、読者の皆様でご希望される方には送料込みで@1,000円でお分けしております。研究実績書なので、著者や大学に売り上げが入るものではありません。また、参考までに裏面に研究概要を記載しておりますので申し添えます。

【問い合わせ先】

岩手県立大学社会福祉学部 教授 櫻 幸恵

e-mail : sakura@iwate-pu.ac.jp

電話 : 019-684-2300 (学部事務室)

019-694-2386 (研究室直通)

研究概要のご紹介

ステージⅠ（令和２年度）

ステージⅠでは、様々な生活実態によって読書環境が整っていない家庭や、図書館にアクセスが難しい親子にこそ、公立図書館に対する潜在的ニーズがあると仮定し、地域の子育て世帯の生活実態と読書習慣や図書館利用に関する調査を行い分析しました。

ステージⅡ（令和３年度・４年度）

次の２年間は、ステージⅠの結果に基づいて、図書館を地域に開き、北上市立中央図書館と福祉や母子保健の部署等が連携し「地域ユニット」として行う「地域の親子と図書館をつなぐプログラム」を試行実践しました。